

令和元年台風第19号 福島県いわき市における活動

ホリフトウォーターの活用方法

いわき市の断水概要

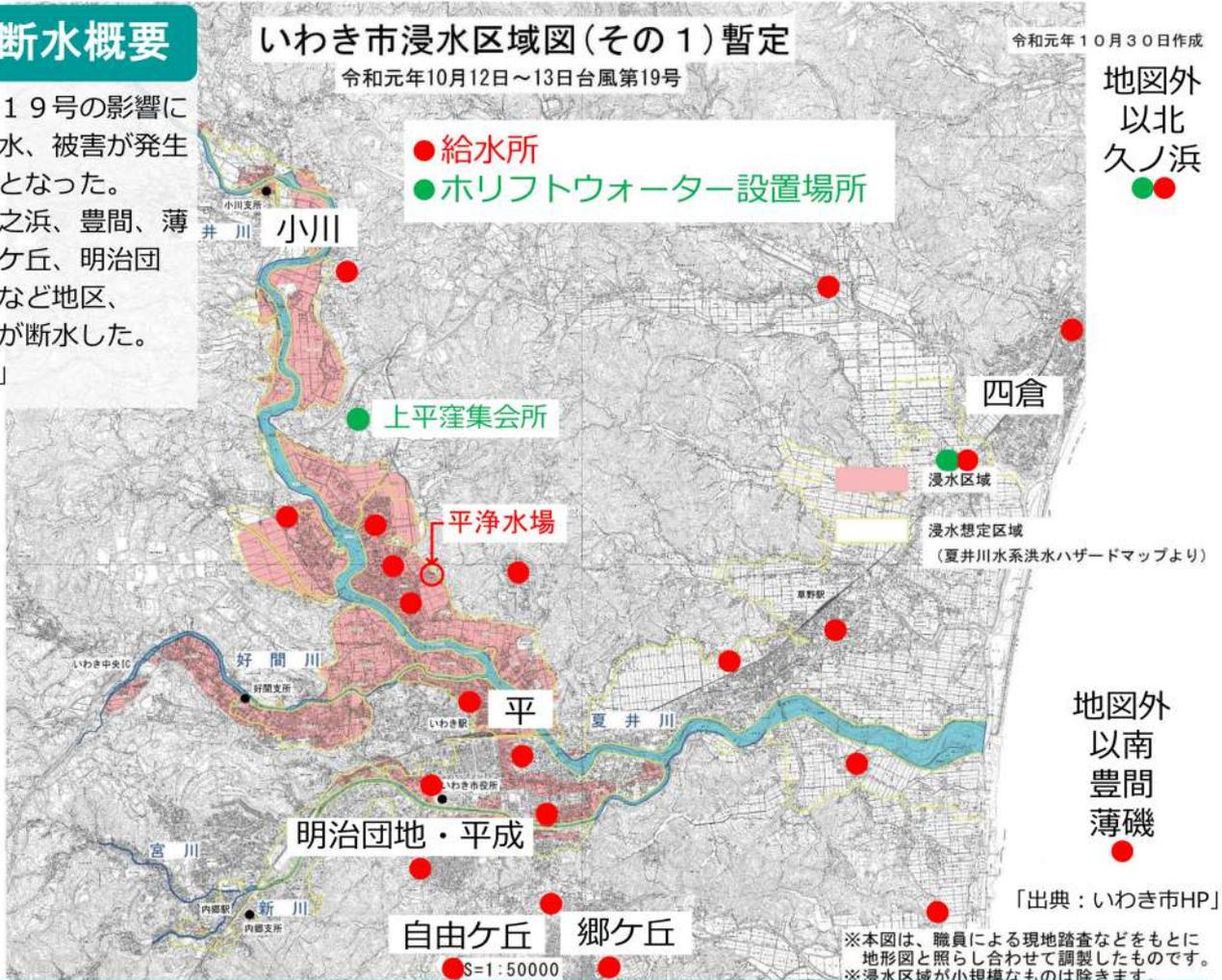
いわき市は台風19号の影響により平浄水場が浸水、被害が発生したため運転停止となった。同市平、四倉、久之浜、豊間、薄磯、郷ヶ丘、自由ヶ丘、明治団地、平成、小川、など地区、4万5400世帯が断水した。

「出典：いわき経済報」

いわき市浸水区域図(その1) 暫定

令和元年10月12日～13日台風第19号

令和元年10月30日作成



被災地での使用例

被災地の様子



平浄水場① 出典:10月15日 いわき経済報



平浄水場② 出典:10月15日 いわき経済報



大浦公民館



上平窪集会场①



上平窪集会场②



車載時の様子



久ノ浜・大久支所 車載給水の様子



Since 1885

HORITOMI

堀富商工株式会社

大阪府堺市西区浜寺石津町東3-5-23
TEL:(072)241-3821 FAX:(072)241-3822

西日本豪雨「平成30年7月豪雨」 広島県三原市における活動 ホリフトウォーターの活用方法

西日本豪雨の概要

降雨期間：平成30年6月28日～7月8日

死者224名、行方不明者8名、負傷者459名

住家全壊6,758棟、半壊10,878棟

一部破損3,917棟、床上浸水8,567棟

床下浸水21,913棟など 「出典：平成30年度消防白書」

6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨。

この豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200人を超える甚大な災害となった。また、全国で上水道や通信といったライフラインに被害が及んだほか、交通障害が広域的に発生した。

「出典：気象庁」

断水の状況

7月11日正午時点

広島県 21万1008戸

愛知県 2万2757戸

岡山県 9696戸

他の9府県 117戸

近畿や四国など約90の自治体から給水車計117台を派遣し、広島、岡山、愛媛の3県の支援に入った。

「出典：毎日新聞7月12日」

8月1日10時00分時点でも広島、愛媛の2県で8,292戸が断水となっていた。

「出典：NHK NWES WEB 8月1日」

被災地での使用例

被災地の様子①



本郷北方コミュニティセンター①



下北方町内



被災地の様子②



本郷北方コミュニティセンター②



本郷町船木地区内①



被災地の様子③



本郷北方コミュニティセンター③



本郷町船木地区内②



被災地の様子④



原市集会所



本郷町船木地区内③



Since 1885

HORITOMI

堀富商工株式会社

大阪府堺市西区浜寺石津町東3-5-23
TEL:(072)241-3821 FAX:(072)241-3822

平成27年9月関東・東北豪雨における活動 ホリトウォーターの活用方法

降雨及び流量、被害状況の概要

- 9月9日から9月10日にかけて栃木県日光市五十里（いかり）観測所で、昭和50年の観測開始以来、最多の24時間雨量551mmを記録するなど、各観測所で観測史上最多雨量を記録した。
- 鬼怒川水海道地点では、10日7時から11日2時までの19時間にわたり氾濫危険水位（5.3m）を超過し、さらに10日11時から16時までの5時間にわたり計画高水位（7.33m）を超過した。
- 今回の洪水では、鬼怒川水海道地点において約4000m³/sを観測し、観測史上最大流域を記録した。

鬼怒川下流域における一般被害の状況

項目	状況等
人的被害	常総市 (死亡2名、重症3名、中等症21名、軽症20名) (10月30日16時現在)
住家被害	常総市 (全壊53、大規模半壊1,575、半壊3,475、床上浸水148、床下浸水3,072) 結城市 (大規模半壊6、半壊44、床上浸水1、床下浸水155) 筑西市 (大規模半壊68、半壊3、床下浸水18) 下妻市 (全壊1、半壊39、床上浸水16、床下浸水110) つくばみらい市 (半壊13、床上浸水1、床下浸水21)
救助者	ヘリによる救助者数 1,339人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯、31,398人 ②避難勧告 990世帯、2,775人 (※9月24日16時現在・常総市)
避難所開設等	避難者数 7,032人 (※9月11日7時現在・常総市及び下妻市)

(茨城県災害対策本部 平成28年1月22日16時以前の発表資料より
常総市等、関連を抜粋)



自衛隊員にボートで救出された人たち 毎日新聞社



屋根からヘリコプターで救助される人 毎日新聞社



常総市役所から駐車場を撮影(撮影日:9/11) 周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。(ヘリ撮影日:11日15時頃)

「出典：国土交通省 関東地方整備局」

被災地での使用例

水道局での給水①



水道局での給水②



荷下ろしの様子①



荷下ろしの様子②



常総市役所①



常総市役所②



常総市役所③



常総市役所④



熊本地震における活動

ホリフトウォーターの活用方法

熊本地震の概要

4/14 21:26 前震 (マグニチュード6.5)
 4/16 01:25 本震 (マグニチュード7.3)

最大震度別回数 ※4/14 21:00~5/19 15:00

震度7 2回
 震度6強 2回
 震度6弱 3回
 震度5強 4回
 震度5弱 7回
 震度4 88回
 震度1~3 1394回

「出典：気象庁」



「出典：読売新聞」

応急給水及び応急復旧実施状況

応急給水

	事業体数	台数	人数
熊本市	72	84	254
益城町	4	4	11
御船町	3	3	10
西原町	2	2	6
南阿蘇村	3	3	6

応急復旧

	事業体数	班数	人数
熊本市	51	57	456
益城町	5	6	39
御船町	2	2	19
西原町	2	2	6
阿蘇市	3	4	31

「出典：日本水道協会」

被災地での使用例

被災地の様子①



月出小学校

被災地の様子②



長嶺小学校①

水道局での給水



長嶺小学校②

荷下ろしの様子①



荷下ろしの様子②



益城町保険福祉センター歯磨き場①



益城町保険福祉センター歯磨き場②



益城町保険福祉センター歯磨き場③



南部中央病院



Since 1885

HORTOMI

堀富商工株式会社

大阪府堺市西区浜寺石津町東3-5-23
 TEL:(072)241-3821 FAX:(072)241-3822

令和3年7月伊豆山土砂災害における活動

ホリフトウォーターの活用方法

災害概要

令和3年7月3日午前10時30分頃伊豆山地区の逢初川で発生した大規模土砂災害。伊豆山地区の1500戸余りで停電、1100戸で断水、392戸でガスが停止した。

給水支援活動

- ・当社はホリフトウォーター2台、計2トンの飲料水を、堺市上下水道局より購入し、7月7日に熱海市に入り、7月8日早朝より伊豆山地区仲道公民館に設置した。
- ・行政で、岸谷会館・伊豆山地区防災コミュニティセンター・中銀ライフケア第2伊豆山18号館仲道公民館・七尾第5配水池下住宅の、計5か所での給水支援を実施したが、現地は急勾配の斜面が多く、独居高齢者が多いため、毎日数kgの水を取りに行くことが困難であった。また、備蓄していた応急給水タンクは、バルーンと呼ばれるビニール風船式のものであり、500kgの貯水しかできず、水を吐出する際の水圧が弱く、市民が水を受け取る際には、バルーンの上に消防局員が覆いかぶさりながら排水する必要があった。
- ・当社のホリフトウォーターは倍の容量を貯水し一度の給水車からの給水で、2倍の水を市民に配れることPETボトルやポリ容器への吐出も早く、行列せず水をもらえることから市民の方達から大変好評を得た。
- ・最終的には市民の飲料、生活用水だけでなく、捜索作業に従事する消防、警察、自衛隊の方々の日々の作業後の、制服の泥を落とす用途にもご使用を頂いた。
- ・伊豆山地区の断水は7月16日に最終的に解消、水道は全て復旧した。
- ・ホリフトウォーター2台撤収。



備蓄給水バルーン

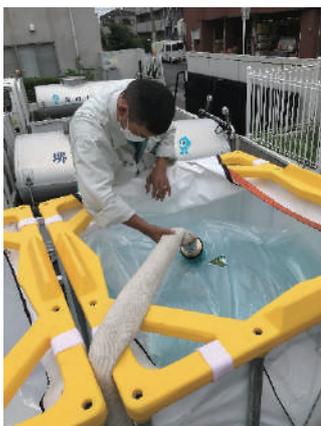


備蓄給水バルーンでの給水活動



捜索活動の様子

ホリフトウォーターでの給水活動（仲道公民館）



令和4年台風15号静岡清水区 大規模断水における活動 ホリフトウォーターの活用方法

災害概要

- ・令和4年9月24日未明にかけて静岡全域を襲った台風により記録的な大雨となり、中部電力の送電鉄塔が倒壊、静岡市を中心に最大で12万軒を超える大規模停電が発生。
- ・清水区では興津川にある取水口に大量の流木や土砂が詰まった影響で、6万戸を超える大規模な断水が発生した。
- ・県知事は、26日に静岡市・川根本町の求めに応じ陸上自衛隊に対して災害派遣の要請をし、激甚災害への指定を国に要請した。
- ・静岡県上下水道局災害対策本部を設置し、清水区内31か所で応急給水を実施した。また民間では『御菓子庵 田子の月』が全国からの支援物資の受け渡しをSNSにて宣言、清水店を一時営業停止し、全国からの支援物資受け渡しをボランティアとして行い、円滑な物資の供給に役立った。
- ・静岡県が備蓄する鉄製タンク50台は重量が重く、設置に手間取り、その後の洗浄にも苦慮した。

給水支援活動

当社は、堺市上下水道局にて、飲用浄水を2トン購入、ホリフトウォーター2台に充填し、予備の折り畳んだ状態の1台をユニック車に積み、9月27日午前中に清水区『田子の月』へ到着、同社牧田社長了解の下、1トンの浄水を充填した1台を設置、民間の応急給水所として生活用水給水を開始した。（飲用は全国からの支援PETボトルが潤沢にあり）
同所の1トンの水は1日で使い切った。

同時に静岡県上下水道局災害対策本部の指示により、清水総合運動場に2台を設置、1台1トンの水の給水とともに、予備の1台を直ちに組み立て、現地の給水車から給水、合計2台を生活用水の給水源として活用された。

断水はその後9月30日より徐々に解消。

山間部の庵原北、承元寺町、高山、吉原も10月2日以降、徐々に解消に向かった。

ホリフトウォーター3台10月5日撤収。



田子の月設置活動



田子の月にて行列無く、生活用水を受け取る人々



静岡市清水総合運動場での給水活動
(ポリ袋だけでなく大型ポリ容器で受水する市民も目立った)



備え付け 鉄製タンクでの給水

令和6年能登半島地震における活動

ホリフトウォーターの活用方法

断水状況：能登半島地震では、（令和6年1月9日時点）計約58,738戸で断水が発生しました。特に石川県輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市、志賀町では、ほぼ全域で地震により水道が機能を停止し、それにより重要施設である病院・医療機関でも断水が発生しました。

給水支援活動

2024年1月6日、能登半島地震による断水を受け、堀富商工株式会社は、石川県羽咋市に「ホリフトウォーター」を4台無償提供しました。同市の要請に応じて、タンク3台に合計3000ℓの浄水を充填した上で、大阪からトラックで輸送し、羽咋市すこやかセンターに設置。

1月29日には「ホリフトウォーター」を新たに中島中学校・中島地区コミュニティセンターに2台設置し、七尾市より正式に給水拠点に指定され、近隣住民の皆様にご利用頂きました。



2024年1月5日早朝 大阪府本社で組み立て作業。地域の上下水道局と連携し浄水を充填。



2024年1月6日石川県羽咋市すこやかセンターへ到着。給水タンク3台を設置。



2024年1月29日七尾市に追加で2台提供。